

## 第 2 期 pES club シナリオ 4

平成 15 年 6 月 1 日

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

[sulzburger@amy.hi-ho.ne.jp](mailto:sulzburger@amy.hi-ho.ne.jp)

あなたは、栗海老検診センターにアルバイトに来ている 5 年目医師です。今日も、市の健康診断を行っていたところ、元木泰三さん（65 歳）がやってきました。

元木さん「先生、検査は何をやるんですか？」

あなた「通常、市の健康診断では、採血・採尿、レントゲン、心電図、便潜血検査、上部消化管内視鏡をやっています。他に何か、特に希望される検査などありますか？」

元木さん「そうだなあ、胃カメラっつーのは昔やってえらい目にあったねえ。あれだけは二度とやりたくない。胃の検査ってえのには、バリウムの検査もあるんじゃないか？」

あなた「ああ、ありますねえ。それでは、今回は胃カメラの代わりにバリウムにしておきましょうか」

元木さん「ああ、そうしてよ」

こうして、元木さんの健康診断では、上部消化管内視鏡の代わりに上部消化管透視を行うことになりました。しかし、ふと考えてみると、透視が内視鏡の代わりになるのであれば、検査時に患者さんの負担をとまなう内視鏡が、市の健康診断で標準の検査とされているのは不思議です。そこであなたは、透視の診断能がどれくらいなのか知りたいと思い、文献を調べてみることにしました。